

授業科目の区分	専門分野《老年看護学》			
授業科目	老年看護概論			
開講年次・学期	1年次・後期			
単位(時間)	1(30)			
担当講師	《教務主任》看護師としての実務経験あり			
科目のねらい	老年期にある人を理解し、高齢者の健康と多様な生活を支える看護について理解する。また、高齢社会が抱える諸問題を通して、自己の高齢者像を明確にする。			
到達目標	1) 加齢に伴う身体的変化・心理的变化について説明する。 2) 高齢者もてる力を活かすためのかかわりについて説明する。 3) 高齢者の生活とそれを取り巻く社会的状態について説明する。 4) 高齢者とその家族が必要とする社会資源やかかわりについて説明する。			
授業計画	回	内容と方法	事前学習	事後学習
	1(2h)	講義 「授業ガイダンス」 「高齢者とは」	自身の高齢者に対するイメージについて明確にする。	高齢者に関する新聞記事の要約と所感をまとめる。 レポート提出有
	2(2h)	講義 「高齢者の語りをきく意味」 ※VTR視聴	著名な高齢者とその高齢者が述べている言葉について調べる。	身近な高齢者にライフヒストリーをきき、まとめる。
	3(2h)	講義 「加齢に伴う身体的変化①」	加齢に伴う身体的変化について学習する。	学習した内容を復習し、他者にも伝わるようまとめる。
	4(2h)	講義 「加齢に伴う身体的変化②」	3回目の事後課題と同様。	加齢に伴う身体的変化について復習する。
	5(2h)	小テスト有 ※前回の講義内容 講義 「加齢に伴う心理的变化」	提示した課題を確認し、高齢者の心理的变化について考える。	学習した内容を復習し、考えをまとめる。
	6.7(4h)	演習 「高齢者体験」	これまでの学習を基に、高齢者になりきれるよう準備する。	高齢者体験をしての学びをまとめる。 レポート提出有
	8(2h)	講義 「高齢者を取り巻く社会的動向」	提示した課題について調べる。	社会的動向を知り、自己の考えをまとめる。 レポート提出有
	9(2h)	講義 「高齢者を支える社会資源」	社会保障制度について学習する。	社会保障制度の変遷や内容について復習する。
	10(2h)	講義 「高齢者に対する権利擁護」	高齢者を差別していると感じる社会の状況について考える。	自分たちができる高齢者に対する権利擁護について考える。 レポート提出有
	11(2h)	講義 「ICF(国際生活機能分類)と老年看護」	提示した課題の事例患者について、自分ならどう関わるか考える。	高齢者にとってのよい環境について考える。 レポート提出有

	12 (2h)	演習(発表)「高齢者のライフストーリー鑑賞会」	ライフストーリーのプレゼンテーションの準備をする。	鑑賞会を終えての学びをまとめる。 レポート提出有											
	13 (2h)	講義「終末期を迎える高齢者とその家族に対する看護」	提示された事例患者の家族の心情について考察する。	人生の最終段階にある高齢者とその家族にどう関わるか、自己の考えを明確にする。 レポート提出有											
	14 (2h)	講義認知症サポーター養成講座 《地域包括支援センター職員》													
	15 (2h)	終了試験 講義「高齢者と災害」	災害における高齢者の脆弱性と必要な支援について考察する。	全講義の過程を俯瞰し、目標の達成状況について自己評価する。 レポート提出有											
必携文献	1) 中島紀恵子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学，医学書院，2025. 2) 本田美和子、イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ著：ユマニチュード入門，医学書院，2014.														
参考文献	1) 厚生統計協会編：厚生の指標 国民衛生の動向														
成績評価方法	課題レポート：30%、終了試験（筆記試験）：60%、出席と学習への取り組みと態度：10% 6割以上を合格とする。														
備考	体験学習や課題学習を通して、また加齢の経過の中にあるご自身のこととして、老年期にある人を理解しましょう。各回の講義でワークを随時行う。														
出席自己 チェック欄 30h	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30 試験 (1)